

平成28年度 自己評価【分掌】

A:十分満足である B:ほぼ満足できる C:改善が必要である

	重点目標	具体的取組事項	評価指標(到達したい状況・状態)	評価基準			達成値	評価	反省及び次年度への課題等	関係者評価
				A	B	C				
総務部	PTA活動の充実	PTA会報等の発行により、保護者への情報発信を行う。	PTA会報等についての保護者アンケートでのA・Bの割合	A 80%	B 70%	C 60%	78.3%	B	発行回数は減らしたが、カラー印刷で手渡しか郵送となり、保護者に届きやすくなった。	B
	広報活動の強化	ホームページ更新講習会を複数回開き、更新回数を増やす。	ホームページに関する保護者アンケートでのA・Bの割合	A 85%	B 75%	C 65%	86.8%	A	更新講習会は1回実施し、その後は個別に対応した。今後は更新回数の少ないカテゴリへの働きかけを行う。	A
教務部	自己管理能力の育成	保護者、担任、生徒部との連携や、生徒への啓発をとおして欠席と遅刻のさらなる減少を目指す。	生徒アンケートで遅刻Oに向けて努力したと回答した生徒・教職員の割合	A 90%	B 80%	C 70%	96.0%	A	遅刻に対する生徒の意識は年を追うごとに高まってきており、さらに皆勤という高い目標を目指している。	A
	キャリアプランニングの推進	漢字検定や農業技術検定の全生徒受験に加え、各科専門資格への挑戦をとおして生徒のキャリアアップに努める。	1,2年次は今年度取得した資格数が1つ以上の生徒の割合。3年次は3年間で3つ以上の生徒の割合。	A 80%	B 70%	C 60%	1年58% 2年89% 3年84%	B	今年度から英検が1年全員受験となり、それにともなって英語科では、組織的な指導が行われ、成果があった。	B
生徒指導部	校内外で積極的に挨拶をさせる	生徒会、風紀委員、教員と毎朝の挨拶運動を実施。全校集会、学年会などで呼びかける。	校内外で挨拶ができていると答えた生徒、教職員の割合。	A 90%	B 80%	C 70%	86.0%	B	引き続き、レベルの高いすごい挨拶をすることを目指し、学年集会や全校集会などで呼びかけていく。	B
	交通マナー(自転車)の強化	全校集会、学年会などでの呼びかけ、学期に1回の街頭指導を行うと共に、警察と連携しながら注意・指導をしていく。	交通マナーを意識し、自転車の安全運転で登下校をしていると答えた生徒の割合。	A 90%	B 80%	C 70%	80.5%	B	何かあってからでは遅く、命を大切にすることの意識付けを警察との連携や各集会で呼びかける。	B
進路指導部	体系的・計画的な進路指導体制の構築	進路ガイダンス・進路ミュージカル・基礎力テスト・一般常識課題テスト・CCP・面接指導(3年生)等は進路決定に役立っている。	「進路指導部の取組は役立った」に対してA・Bを回答した生徒・教職員の割合	A 90%	B 80%	C 70%	91.1%	A	おおむね満足できるが、さらに精選に努め、スクラップ&ビルドに心がけたい。	A
	進路検討会を活用した進路指導	進路検討会は生徒理解に役立ち、進路決定を促している。	「進路に関する資料の提供や担任・進路の教員との相談など個人に応じた進路指導が行われている」に対してA・Bの回答をした保護者の割合	A 80%	B 70%	C 60%	89.5%	A	教員評価でも87.8%である。進路検討会は進路決定・生徒理解に必要不可欠なものであると信じている。より多くの参加、会議の活性化に努めたい。	A
健康相談部	生徒の健康状態の把握と適切な対応	健康観察簿、健康診断、諸検査の結果や日常の相談などから適切な対応を行う。	教職員アンケートにおける「A」「B」の割合	A 80%	B 70%	C 60%	67.4%	C	保健室業務は例年通り行われている。また来室生徒との相談やそれを受けて関係教員への連絡・情報提供も丁寧に実施しており、保護者評価を見ても対応に大きな問題はなかったと考える。	C
	教育相談活動の充実	スクールカウンセラー、ケース会議等の活動を通して適切な対応に努める。	教職員アンケートにおける「A」「B」の割合	A 80%	B 70%	C 60%	60.9%	C	ケース会議が教科担当者会等に置き換わるが多かった。教育相談委員会の規程の見直しを行い、よりスムーズな連携・支援への移行が図れるようにしたい。	C

図書研修部	授業や研究に役立つ資料の選定・収集に努める。	出張図書館や図書館ニュースを通じて、図書館の資料を紹介する。図書館運営委員会を通じて、先生方のリクエストに応え	教職員アンケートにおける「A」「B」の割合。	A	B	C	93.30%	A	授業での資料の提供を充実させていきたい。	A
	生徒の豊かな感性を育む読書指導を行う。	図書委員会主催のイベントや図書館ニュースを通じて、生徒の読書活動を支援する。	「図書館の設備や雰囲気は利用しやすい」という生徒アンケートの「A」「B」の割合。	A	B	C				
寮務部	基本的な生活習慣を身に付ける指導を行う。	あいさつ、時間厳守について毎日実施する。	教職員アンケートにおける「A」「B」の割合。	A	B	C	93.5%	A	次年度も続くようにしたい	A
	寮内外の環境整備を行う。	寮内外の定期的な掃除を行う。	教職員アンケートにおける「A」「B」の割合。	A	B	C				
農場部	研究活動を推進する	①実験・実習の積極的な展開 ②生徒自らが課題解決学習に積極的に取り組む	教職員アンケートにおける「A」「B」の割合。	A	B	C	84.6%	C-	事故のない安全で安心な農場が展開できるよう展開していきたい。	C-
	環境整備の徹底	①役割分担の明確化 ②定期的な点検 ③適切な環境整備計画の立案	「環境整備」を問うアンケートに対する「教職員」「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C				
植物科学科	自己管理能力の育成	①時間厳守の徹底 ②授業に相応しい服装指導	「自己評価10、12」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C	①95.8% ②99.3% (平均) 97.6%	A	実験・実習にふさわしい服装は概ねできているが、教室移動の時間厳守やチャイム前着席は継続した指導が必要である。	A
	自ら学ぶ姿勢の育成	①課題研究授業の充実 ②資格取得に向けての指導	「自己評価16」「学校評価6」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C				
環境科学科	自己管理能力の育成	①時間厳守の徹底 ②授業に相応しい服装指導	「自己評価10、12」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C	①92.1% ②97.4% (平均) 94.7%	A	大半の生徒が意識しているが、時間厳守とは言えない場面や、着こなし(特にヘルメットの着用)が十分でない生徒がいる。今後とも継続的に指導する必要がある。	A
	自ら学ぶ姿勢の育成	①課題研究授業の充実 ②資格取得に向けての指導	「自己評価16」「学校評価6」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C				
食品科学科	自己管理能力の育成	①時間厳守の徹底 ②授業に相応しい服装指導	「自己評価10、12」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C	①92.9% ②99.1% (平均) 96.0%	A	座学・実験・実習にふさわしい服装は概ねできているが、教室移動の時間厳守は継続した指導が必要である。	A
	自ら学ぶ姿勢の育成	①課題研究授業の充実 ②資格取得に向けての指導	「自己評価16」「学校評価6」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C				

動物科 科学科	自己管理力の育成	①時間厳守の徹底 ②授業に相応しい服装指導	「自己評価10、12」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C	①98.1% ②100% (平均) 99.1%	A	総合実習には10分前に集合し、教室移動もすみやかにできている。実習等に対する服装もおおむね良好であるが実習時に髪を結ぶなど細かな点が徹底できていない面も指導したい。	A
	自ら学ぶ姿勢の育成	①課題研究授業の充実 ②資格取得に向けての指導	「自己評価16」「学校評価6」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C				
一年部	目標に向けて行動を起こす生徒を育成する	HR、学習活動等での学校生活、学習指導を行う	「自己評価2・4・9・10・18」についてA,Bの割合	A	B	C	78.90%	B	家庭学習の週間に取り組む生徒が少なく平素からの家庭学習に対する意識向上が必要と考える。日々の学習への取り組む意識は高い。	B
	学ぶ意義を知り、多くの人へ広める生徒の育成	マナトレを中心とした学習への取り組み	「自己評価7・8」についてA,Bの割合	A	B	C				
二年部	学校生活に前向きに取り組む生徒を育成	各クラスや学年集会(年間:5回実施)での指導	「自己評価9~15」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの割合	A	B	C	96.8%	A	話しを聞く、あいさつをする、時間を守るなど、基本的な生活習慣を向上させようという意識はあるように思える。さらに、進路実現も意識を高め、社会で通用する常識を身に付けさせる。	A
	進路を見据え、自ら学ぶ生徒の育成	総合学習でのマナトレ(6級~4級)への取り組み	マナトレの認定テストに最終的に合格した生徒の割合	A	B	C				
三年部	最高学年として他の模範となる生活態度を実践できる生徒	学校生活だけでなく、今後の生活においても大切なこの7項目(生徒アンケート9~15)を朝終礼時や学年集会にて話し、徹底させる。	「自己評価9~15」を問うアンケートに対する「生徒」のA・Bの回答割合	A	B	C	96.0%	A	朝終礼時や学年集会にて話し、挨拶、遅刻ゼロ、校則(頭髪・服装等)、掃除、交通マナーの項目について昨年の評価を上回り、徹底させることができた。課題としては、授業準備や整理整頓を今後の課題とし	A
	進路実現に向け、情報の収集や分析を主体的に行い、進路決定ができる生徒	進路ガイダンス等に積極的に参加し、進んで進路実現に努力する。また、週に1度の学年会にて全体・個人に対してのミーティングを行う。(進路指導部長も毎回参加する)	進路決定の割合	A	B	C				